

森と薪のフォーラム2013

# 暮らしに森と薪を ～旭川の可能性



薪ストーブの炎は暖かく、見ているだけでも気持ちや和みます。森と木は、はるか昔から人が活用し、持続可能な資源やエネルギーです。旭川市は森に囲まれ、古くから林業や家具製造が盛んで、木の恵みにとても近い街です。環境の時代、石油や原子力に頼り切らず、森林バイオマスをはじめとした、新しいタイプの木の利用法、森への接し方が期待されています。

本年度、旭川市とNPOもりねっとが協働で開催した「森と薪プロジェクト」の締めくくりとして、森林バイオマスの現状を知り、薪ストーブの使いこなしから森の楽しみまで、「森と木のある暮らし」を幅広く考えます。

日 時

**2013年2月24日 (日) 午後1時～4時**

会 場

ときわ市民ホール 4F 多目的ホール  
旭川市5条4丁目 TEL23-5577

----- プログラム -----

- 13:00～ 講演「森や木といっしょに暮らすー日本と欧州の文化」  
長原 實さん (カンディハウス会長)
- 14:00～ 薪ストーブ講座「薪ストーブの導入と使いこなし」  
横山 愛慈さん (煙筒の横山)
- 15:00～ 薪ストーブユーザーの体験談
- 15:30～ NPOもりねっとの森と薪普及紹介
- 16:00終了予定

参加費

無 料 (申し込み不要)

定 員

100 名

主 催

NPO 法人 もりねっと北海道 ・ 旭 川 市  
旭川市神居町神華155-7 TEL 76-2006  
ホームページ <http://www.morinet-h.org>



お問い合わせは、旭川市環境部環境保全係 (TEL: 25-5350 FAX: 29-3977)  
または、もりねっと北海道 (Eメール: [ask@morinet-h.org](mailto:ask@morinet-h.org)) まで。

※ この事業は、旭川市の「市民提案による協働のまちづくり事業」の採択事業です。

## 薪ストーブ 5つの効用



### 1. 家族にやさしい

薪ストーブの揺れる炎は、心も体も温めてくれます。家族みんな、大人も子供もペットも火の前に集まって、お茶を飲み、話をする時間が生まれます。薪ストーブは、長く寒い冬を豊かに過ごす、「家族の中心」になるのです。

### 2. 家計にやさしい

自分で薪を割って積めば、灯油よりかなり経済的です。いつもお湯が沸き、調理もできます。電気や石油、ガスが途絶えても切り抜けられる、災害に強い暮らしが実現します。

### 3. 地球にやさしい

石油などの化石燃料と違い、樹木は数10年という時間単位で再生可能です。燃やしてできたCO<sub>2</sub>は、人の努力で再び森の樹木として蓄積でき、輸送エネルギーも少しで済む、地域エネルギーです。

### 4. 森にやさしい

森を破壊するような伐採は論外ですが、日本には手入れが必要な人工林や混み合った天然二次林が多くあります。それらを間伐した一部が薪として有効利用されれば、森を手入れする費用が生み出されます。

### 5. 地域にやさしい

石油代金の多くは、はるか遠くの産油国に行ってしまっていますが、薪の費用は、森で働く人の賃金や手入れの経費として地元を潤します。暖房経費は「アラブの王様より、地元の森と木こりに払おう」なのです。

## 薪ストーブ 3つの覚悟

とても魅力的な薪ストーブ生活ですが、シンプルな道具だけに、使う側にいくつかの心得や覚悟が必要です。まずは体験と情報集めを。

### ☆場所が必要です

薪ストーブは大きく熱いので、十分なスペースが必要です。室内に薪や掃除用具などを置く場所、煙突が通る空間もいります。外に薪を割って置く場所がありますか？「もりねっと」は会員制の共用薪ヤードを設け、原木を供給し、薪割り乾燥をする場所を提供しています。

### ☆行動が必要です

割った薪を購入すると、ほかの燃料より高つくことがあります。割る楽しみはありますが、労力や時間はかかります。電話1本で配達され、自動運転が可能な灯油とは違います。原木を安く見つけるには、探したり頼んだりする努力も必要です。煙突掃除も、プロに頼むか、自分でやるか、動くのはあなたです。

### ☆薪は生ものです

新材の伐採は水分が少ない冬が最適です。早く割らないと、その年には使えません。割って積んでおけば3-4年持ちますが、雨がかけると次第に朽ちたり、キノコが生えたりします。虫が這い出すこともあります。季節に合わせた、暮らしの段取りが必要なのです。